



VSN が IT エンジニア約 1,000 名を対象に意識調査を実施

今後エンジニアが高めるべき能力は「コンサルティング力」

- 約 6 割のエンジニアが、技術的スキルのみでは今後生き残れないと回答 -

【2019 年 12 月 11 日 東京】

人財サービスのグローバルリーダーであるアデコグループのグループ会社で、エンジニア人財サービスを提供する株式会社 VSN（本社：東京都港区、代表取締役社長：川崎 健一郎）は、IT エンジニアを対象に、「今後、求められる能力や自身の仕事の将来に関する意識調査」を実施し、1,012 名から回答を得ました。

調査結果概要

1) 約 6 割のエンジニアが、技術的スキルだけでは生き残れないという危機感を持っている

「今後、エンジニアは技術的スキルだけで生き残れると思うか」という質問に、半数以上のエンジニアが「生き残れないと思う」と回答した。さらに、エンジニア経験年数で比較すると、年数に比例して危機感を感じる割合が高くなり、若手よりもベテラン層の方が高い危機感を感じていることがわかった。

2) 技術スキル以外に高めるべき能力の第 1 位は、「課題策を見つけて提案する『コンサルティング力』」

2 位は、「システム全体の進捗を統括する『プロジェクトマネジメント力』」

「今後技術スキル以外にどのような能力を高めるべきか」という質問に対し、「課題策を見つけて提案する『コンサルティング力』が最も多く、次に「システム全体の進捗を統括する『プロジェクトマネジメント力』が多かった。

3) 約 4 割のエンジニアが、自分の仕事が将来的には AI に代替される脅威を感じている

AI に対して脅威を感じているエンジニアの割合は約 4 割と、全体の半数以下の結果となった。

4) キャリアビジョンを考えているエンジニアは、7 割以上

何かしらのキャリアビジョンを考えているエンジニアは約 7 割。IT 領域は、移り変わりのスピードが早く、常にスキルアップを求められるため、キャリアについて考える割合が高い結果になった。

5) 人生 100 年時代のキャリアビジョン第 1 位は「他領域でエンジニアとして活躍したい」

人生 100 年時代のキャリアビジョンについてどのようなビジョンを持っているのが質問したところ、「他領域でエンジニアとして活躍したい」という回答が最も多かった。

今回の調査では、現役エンジニアが今後技術力だけでは生き残れないという高い危機感をもっており、技術力以外に伸ばすべき能力として「自ら課題を見つけ解決策を提案できる『コンサルティング力』」が必要であると感じていることがわかりました。今後、IT エンジニアに対し、高い技術力のもとより、課題解決に導く高度なコンサルティング力が求められるようになり、弊社ではこの傾向が一層強くなると予想しています。

VSN では、技術力と高いコンサルティング力とを兼ね備えたエンジニアである『バリューチェーン・イノベーター』^{※1}を育成し、課題解決サービスを企業へ提供しています。技術力だけではなく、組織内の課題を広い視野で検出し、現場視点でのソリューションを提供することで、新規事業や施策を計画・実施し、企業の生産性の向上や事業拡大に寄与しています。

※1：エンジニアが派遣先で技術提供を行うだけでなく、その過程で顧客のビジネスにおける課題を見つけ出し、顧客とともに改善に取り組むことで、企業価値の向上とビジネスの革新を推進する VSN 独自のサービス

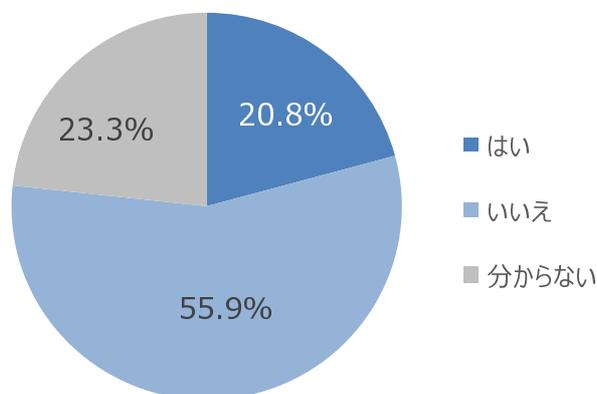
【調査結果詳細】

1. 約 6 割のエンジニアが、技術的スキルだけでは生き残れない危機感を持っている

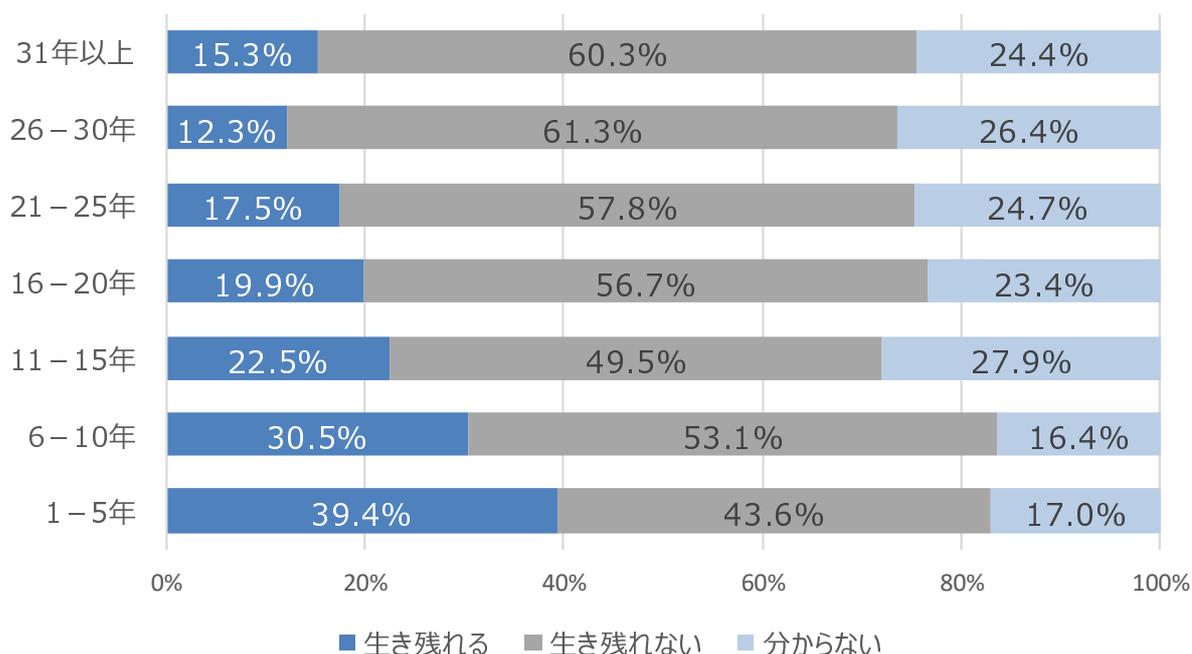
「今後、エンジニアは技術的スキルだけで生き残れると思うか」という質問をしたところ、「生き残れる」と回答したエンジニアは 20.8%にとどまり、55.9%のエンジニアが「生き残れないと思う」と回答しました。約 6 割のエンジニアが今後は、技術力だけでは生き残れないという危機感をもっていることが分かりました。

また、エンジニア経験年数でみると、1 年から 5 年の経験年数の層では「生き残れない」の回答が 43.6%に対し、31 年以上の経験者は 60.3%と経験年数に比例して危機感が高くなっているという結果になりました。

Q. 今後、エンジニアは技術的スキルだけで生き残れると思いますか？（単一回答、n=1,012）



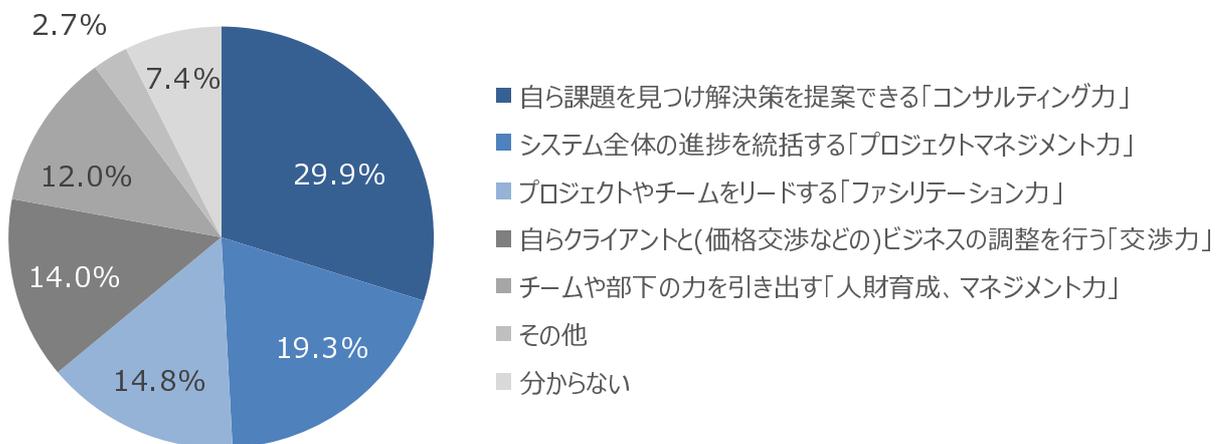
Q. 今後、エンジニアは技術的スキルだけで生き残れると思いますか？（経験年数別）
（単一回答、n=1,012）



2. 技術スキル以外に必要な能力、第1位「課題策を見つけ提案する『コンサルティング力』」

前問で、「技術的スキルだけでは生き残れない」と回答した 566 名を対象に、「今後技術スキル以外にどのような能力を高めるべきか」という質問をしたところ、「自ら課題を見つけ解決策を提案できる『コンサルティング力』（29.9%）が最も多く、次に「システム全体の進捗を統括する『プロジェクトマネジメント力』」（19.3%）、「プロジェクトやチームをリードする『ファシリテーション力』」（14.8%）の順に多い結果になり、『コンサルティング力』の向上の必要性を感じているエンジニアが多いことが分かりました。

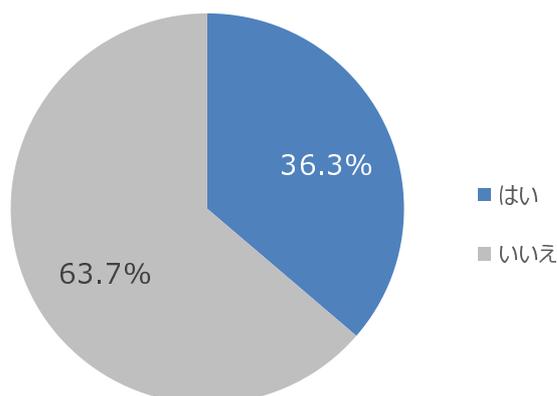
Q. 今後、技術的スキル以外にどのような能力を高めるべきだと考えていますか？（単一回答、n=566）



3. 約4割のエンジニアが、自分の仕事が将来的にはAIに代替される脅威を感じている

「現在の仕事が、将来的には AI に代替されると脅威を感じているか」という質問に対し、「脅威を感じている」と回答したエンジニアが 36.3%、一方で「脅威を感じていない」という回答は 63.7%という結果になり、多数のエンジニアは AI の進展が自分の仕事に影響するとまでは考えていないことが分かりました。

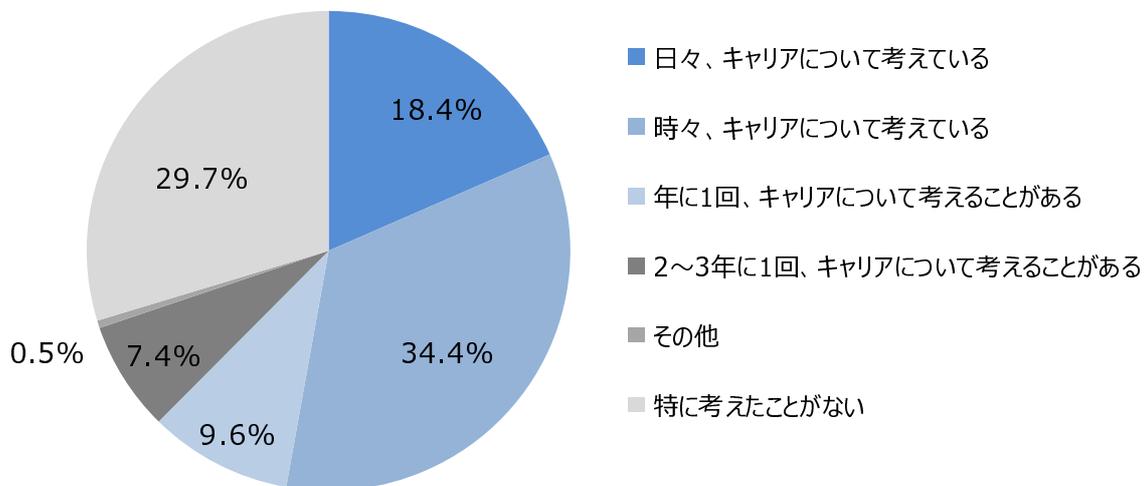
Q. 現在の仕事が、将来的には AI に代替されると脅威を感じていますか？（単一回答、n=1,012）



4. キャリアビジョンを考えているエンジニアは、7割以上

「これまでにキャリアパスを考えてきましたか」という質問に対し、「考えている」と回答した人が 70.3%と、大多数のエンジニアが自身のキャリアの方向性について考えているということが分かりました。新しい技術の台頭やテクノロジーの進展スピードが早く、常に専門性を高める必要がある職種だけに、自身のキャリアに対して高い関心を持つ傾向にあるという結果になりました。

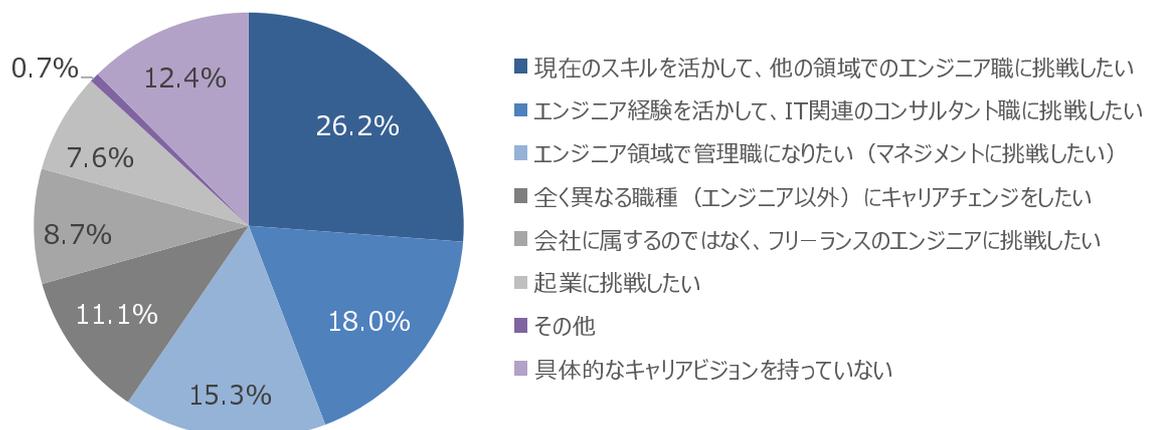
Q. これまでキャリアパスを考えてきましたか？（単一回答、n=1,012）



5. 人生 100 年時代のキャリアビジョン第 1 位は「他領域でエンジニアとして活躍したい」

前問で「キャリアパスを考えている」と回答した 711 名を対象に、「人生 100 年時代といわれるなか、どのようなキャリアビジョンを持っていますか」という質問をしたところ、「他領域でのエンジニア職に挑戦したい」という回答が 26.2%で最も多く、次に「IT 関連のコンサルタント職」（18.0%）、「エンジニア領域での管理職」（15.3%）の順に多い結果になりました。

Q. どのようなキャリアビジョンをもっていますか？（単一回答、n=711）





【調査概要】

調査方法 : インターネット調査
調査地域 : 全国
調査期間 : 2019年10月29日(火)～2019年10月30日(水)
調査対象 : 20代～50代の正社員エンジニア 男女 計1,012人

株式会社 VSN について

株式会社 VSN は、人財サービスのグローバルリーダーであるアデコグループの一員で、エンジニア人財サービスを提供しています。全国に4,000名以上の正社員エンジニアを擁し、取引先企業へ対して高い技術力と幅広い経験を生かし、課題解決に貢献しています。また、VSN エンジニアが経営と現場、両方の視点からお客様の本質的な事業課題を解決する独自サービスである「バリューチェーン・イノベーター」により、企業の生産性向上を支援しています。

2020年7月1日付けで、アデコグループで技術系人財サービスを展開する「Modis」とブランドを統合し、事業ブランドの名称を「Modis VSN」へ変更します。

【VSN ウェブサイト】 <https://www.vsn.co.jp/>

【Modis VSN について】 <https://www.vsn.co.jp/modisvsn/>

【バリューチェーン・イノベーター】について】 <https://www.vsn.co.jp/service/vi.html>

【報道関係者からのお問い合わせ先】

アデコグループジャパン 広報部 Tel.050-2000-7024